

市内で循環！ 再生材ごみ袋！！

横浜市内の家庭から排出されたプラスチック製容器包装を原料の一部に使用したごみ袋を「羽田ポリエチレン」様から寄贈いただきました！

プラスチック対策として、石油由来原料の使用削減を目的に、横浜市内の家庭から排出されたプラスチック製容器包装を原料の一部に使用した**ごみ袋**のサンプルを市内企業の「羽田ポリエチレン」様から500枚寄贈していただきました。

今後、寄贈していただいたごみ袋を清掃活動で活用し、使用感を羽田ポリエチレン様に提供することで、環境に配慮したごみ袋の製品向上に協力していきます。



羽田ポリエチレン代表取締役（右）と西区長（左）の贈呈式



ごみ袋全色の紹介

コロナ禍において路上飲みなどによるポイ捨てが増加する中、地域の皆さまや企業・団体の皆さまと連携し、地域の清掃美化活動を支援しています。

また、このごみ袋を活用して**7月21日（水）14時30分～15時30分 横浜駅西口周辺**で、西区役所と関係局の行政職員が連携した、第3回清掃美化活動を実施します。

今後も「清潔できれいなまちづくり」を実現するための清掃美化活動を継続していきます。

※ごみ袋成分構成

横浜市内の家庭から排出されたプラスチック製容器包装再生原料、ポリエチレンリサイクル原料、バイオマス原料（デンプン）、キャリア原料及び添加剤

お問合せ先

【記者発表に関すること】

西区地域振興課資源化推進担当課長 藤塚 貴代 Tel 045-320-8388

【製品に関すること】

有限会社 羽田ポリエチレン 代表取締役 伊東 正浩 Tel 045-934-2511